

令和4年度 通学路合同安全点検の実施と対策について

野々市市通学路安全推進協議会

No	危険・要注意箇所	通学路の状況・危険の内容	対策
2219	本町五丁目 野々市小学校前道路	・登下校時のスクールバスの停車台数の増加により、児童の安全と周辺住民の交通への対策が必要である。	・学校設置者が車両に注意を促すために路面標示等を検討する。 ・学校設置者と学校、スクールバス運行委託会社により、安全対策を協議する検討会を設置し、今後の対応について検討する。 ・学校が安全指導を行う。
2228	御経塚二丁目 馬場川沿いの歩道	・照明灯が設置されておらず、特に冬期間などは薄暗く危険である。	・道路管理者が照明灯の設置を検討する。 ・道路管理者は、地域住民と枝の剪定等を含めた対応を協議する。 ・町内会及び学校が安全指導を実施する。
2229	稲荷二丁目 歩道のフェンス	・フェンスの腐食が激しいため、その強度が心配され、子供が側溝に転落してしまう可能性があり危険である。	・道路管理者が防護柵の改修を検討する。 ・町内会及び学校が安全指導を実施する。
2230	二日市 交通機動隊前交差点	・集団登校の集合場所となっているが、沿線の交通量も多く、スピードを出す車が多いことから危険である。	・道路管理者が防護柵の設置を検討する。
2232	扇が丘 高橋川大湯橋沿いのフェンス	・部分的にフェンスの腐食があり、子供が川に転落してしまう可能性があり危険である。	・河川管理者がフェンス端部の改修を検討する。 ・町内会及び学校が安全指導を実施する。
2250	中林五丁目 富陽小学校前の農業用水	・日頃から用水の流れが速く、雨天時には増水しやすいことから危険である。	・道路管理者が路側帯の設置を検討する。 ・学校及び放課後児童クラブが安全指導を実施する。
2256	本町一丁目 横宮バス停付近、地下道入り口手前の歩道	・地下道入り口手前の歩道上で、登校の児童と行き交う自転車が接触寸前になるなど、危険な状況が起きやすい。	・道路管理者が注意喚起の対策を検討する。 ・町内会及び学校が安全指導を実施する。
2259	押野二丁目 木呂川のガードレール	・ガードレールはあるが、自動車用となっており、歩行者が誤って転落してしまう危険性がある。	・道路管理者が転落防止柵の設置を検討する。 ・町内会及び学校が安全指導を実施する。